

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成28年度採択分）
「社会医学分野におけるアジアからの国際情報発信力強化戦略」
（課題番号：16HP1003）

学術団体名：一般社団法人 日本衛生学会
学術刊行物の名称：Environmental Health and Preventive Medicine
事業期間：平成28年度～平成32年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本衛生学会は、1902（明治35）年に日本医学会の一部会として設立され、1996（平成8）年1月より英文誌 Environmental Health and Preventive Medicine（EHPM）を刊行している。これまで衛生学分野では、アジア地域の基幹となる英文誌はなく、社会医学とりわけ衛生学分野におけるアジア地域からの国際情報発信力の強化は重要な課題である。EHPMをハイクオリティ・ハイインパクトでかつ掲載料が安価な、アジア初の社会医学系オープンアクセスジャーナルとしての地位を確立し、社会医学分野におけるアジアからの国際情報発信力の強化をめざす。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

（1）積極的な広報活動によるEHPM認知度の向上（2）Impact Factor（IF）の増加（3）投稿論文数増加（4）掲載論文の質の向上（厳選された採択）（5）国際編集委員の機能強化の5項目を行う。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

2017年1月より、EHPM掲載全論文をオープンアクセス化した。投稿・査読料の無料を継続した。海外の著者に対して掲載費用の全額補助の機会を提供した。また日本衛生学会学術総会時に、海外の編集委員を招聘し、国際編集委員会および国際シンポジウムを開催した。また Best reviewer award、Most-downloaded article award を創設した。出版社の Citation Notice サービスを活用し、EHPM誌に引用された論文の著者にメール配信することにより、EHPMの認知度の向上を図った。オープンアクセス誌としての認知度向上をはかる目的でノベルティを作成した。さらに刊行したスピノフ eBook の冊子体を購入し、広報媒体として活用した。

年間投稿数は順調に増加している。一方、厳格な査読により採択率は低下している。オープンアクセス化後ダウンロード数は著明に増加している。IFは1.214(2015)、1.133(2016)、1.376(2017)と推移している。

年	2014	2015	2016	2017	2018 Oct15
投稿数	82	116	216	195	200
掲載数	63	71	79	82	48
採択率	65.85	53.06	47.51	35.03	25.00
年	2014	2015	2016	2017	2018 Sep まで
ダウンロード数 総数	23,923	28,020	40,442	92,335	146,800
月平均のダウンロード数	1,994	2,335	3,370	7,695	12,233

・今後の計画

2017年のIFは1.376と上昇傾向にあるが、IFを一層増加させる取り組みが必要である。今後高い引用が期待できる企画論文、特集論文の立案について、編集委員会により組織的に対応する。また質の高い原著論文の投稿を増加させるための施策を継続して行う。